

# 令和元年度 小石川フィルハーモニーオーケストラ部 活動計画

## 1 指導体制

主顧問 澤田敦子

顧問 気賀澤保代、白井裕輔、緒方浩

外部指導員	塩田 なつめ	音楽家 (Vn・Va・合奏)	年60回
	小宮山 碧	音楽家 (T b・Brass)	年8回
	犬飼 伸紀	音楽家 (T p・Brass)	年8回
	小武内 茜	音楽家 (F g・合奏)	年8回
	小林 孝彦	音楽家 (perc.・合奏)	年8回
	岡村 彩香	院生 (O b)	年6回
	橋本 萌	音楽家 (c l)	年6回
	杉浦 理恵	音楽家 (F l)	年6回
	三谷 野絵	音楽家 (Vc)	年6回
	本多 良子	音楽家 (Cb)	年6回

## 2 年間目標

- ・ オーケストラ演奏を通して、音楽を創造する喜びを知る。
- ・ 生徒の主体的な部活動運営をめざし、主体性・自律性を育む。
- ・ 日々の部活動の中で、お互いを尊重し認め合い、協力し助け合う精神を養う。
- ・ 定期演奏会、学校の各行事（芸能祭、創作展）および高文連主催の音楽会（地区大会、中央大会）での演奏・練習を通して、技術力向上を図る。

## 3 指導方針

- ・ 練習は、原則として平日週5日・午後5時、大会前、行事等の前には適宜、活動延長や休日練習を行う。
- ・ 部の運営や日常の練習指導について、生徒による主体的な活動を柱としながら、顧問が常に注意を払い、適切な助言指導を行う。
- ・ 練習では、ミーティング等も随時行い、規律ある部活動運営を心がける。
- ・ 挨拶や正しい言葉遣いを日頃より心がけるとともに、自ら進んでリーダーシップをとることができる能力を身につけられるよう心がける。

## 4 指導内容・方法

### (1) 体罰・暴言等のない指導

- ・ 専門的知識や教職経験に基づき、体罰はもとより行き過ぎた指導のないよう細心の注意を払って適切な指導を行う。顧問もOB・OGも、指導にあたっては部員一人一人の人格を尊重し、指導していく。

### (2) 生徒間の暴力禁止

- ・ 上級生から下級生へ、同級生同士の間で、暴力や暴言を用いず、必ず話し合いにより問題解決を図るよう、日頃からの指導を徹底する。

### (3) 外部指導員の活用

- ・ 専門的スキルや知識を持つプロの音楽家などの人材を外部指導員として活用する。その際、学校の指導方針等を理解し、顧問と認識を共有できる方をお願いする。

## 5 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	6	7
2年	1	5	6
3年	0	8	8
4年	3	5	8
5年	3	8	11
6年	0	0	0
合計	8	32	40

## 6 活動日及び活動場所

【活動日】 週5日

【休養日】 各自毎週、平日1日以上休養を取っている 及び 土曜日・日曜日

【活動時間】

(平日) 16:00～17:00 (延長時18:00終了)

(週休日等) 9:00～16:30 (8月お盆の週及び年末年始・学校閉庁日は休み)

【活動場所】 音楽室他

## 7 大会等の主な記録 (過去3年)

平成28年度	平成29年度	平成30年度
高文連音楽部門全国大会出場 (広島大会)		家庭クラブ全国大会開会式参加

## 8 年間 (月別) 活動計画 (今年度の参加予定大会を含む)

月	週休日の活動日数	内 容
4	2回	新入部員勧誘 ・部活オリエンテーション出演 ・楽器体験
5	2回	東京都高文連音楽部門総会 (6月8日赤羽会館)、 芸能祭・創作展に向けた曲決め
6	2回	夏期合宿に向けた練習 6月16日フィル保護者会
7	4回	夏期合宿 (7月21日～24日) 河口湖・丸富荘
8	4回	芸能祭・創作展に向けた練習・夏リハ
9	4回	芸能祭・創作展への参加
10	2回	高文連主催・東京都高等学校文化祭音楽部門地区大会に向けた練習
11	2回	高文連主催・東京都高等学校文化祭音楽部門地区大会出演 (11/3) 江古田ベーターヴェンホール
12	2回	定期演奏会に向けた練習開始 高文連主催・東京都高等学校文化祭音楽部門中央大会に向けた練習 (一部)
1	2回	定期演奏会に向けた練習 高文連主催・東京都高等学校文化祭音楽部門中央大会への出演 (1/13) (一部参加) 上野文化会館
2	2回	定期演奏会に向けた練習
3	4回	定期演奏会開催 (31日・川口市リリア小ホール18時～)

※年間を通して基礎練習・パート練習・全体合奏練習を行う。